

TO THE NEXT STAGE

狭山市立中央中学校
進路だより 第7号
令和5年9月1日(金)

学校説明会・体験入学に参加しましたか？

今日からいよいよ2学期。中学3年生である皆さんは、充実した夏休みを過ごしたと思います。特に学習面では、大きく自信を付けた人が多いのではないのでしょうか。

さて、充実した学習も大切ですが、上級学校の学校説明会や体験入学に参加することができましたか。まだ参加していない人、複数回・複数校に参加できなかった人は、できるだけ多くの学校説明会等に参加するように心がけてください。多くの学校を見学すると各校の違いがわかり、自分の求める学校像がはっきり認識できるようになります。自分の理想の学校がはっきりすれば、第1志望とする学校もおのずと選べるようになるでしょう。まだ機会はたくさんありますから、2学期中に予定を立ててみてください。

これから生徒の皆さんは、保護者の方や担任の先生と共に、受験する上級学校(志望校)を絞っていくこととなります。このとき、第1志望校を決定することはもちろん大切ですが、第2志望校を決めておくことも重要なことです。様々な観点から見て、自分に合っている学校はどこなのか、よく考えて決定するためにも、面倒くさがらずにいろいろな学校を調べておくことをお勧めします。

9月・10月の進路関係日程

9/5(火)	第1回4市テスト
9/8(金)	第2回進路希望調査
9/29(金)	第2回英語検定(公費)
10/5,6(木・金)	2学期中間テスト
10/11(水)	第2回4市テスト
10/13(金)	第2回進路保護者会
10/28(土)	第2回漢字検定



県公立高校の入試情報公開

先日の第1回進路保護者会で説明いたしました「令和6年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」および「入試情報」が、以下のホームページ上に掲載されています。ぜひ一度ご覧ください。

入試情報 - 埼玉県立総合教育センターホームページ

<https://www.center.spec.ed.jp/nyuushi>

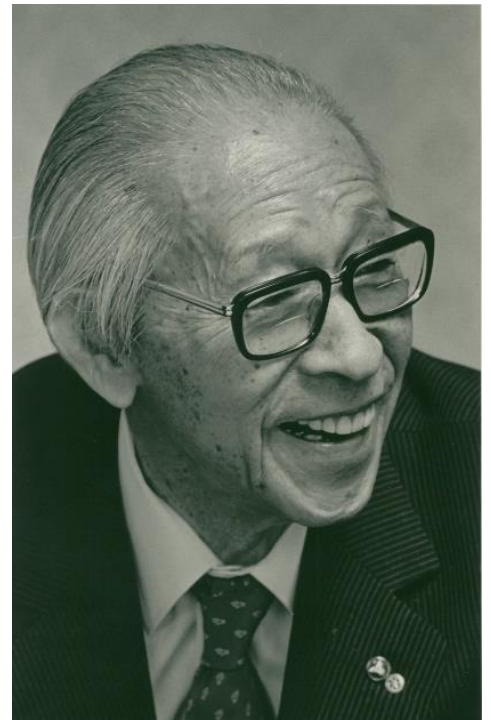


進路の先にあるもの その6～松下幸之助(2)

前号で「失敗したことがない人」として紹介した Panasonic の松下幸之助さんですが、今回も引き続き、別のエピソードを2つ、ご紹介しましょう。

1965年、松下さんは古希（70歳）を迎えた後、グループの総帥になりました。そこである従業員が尋ねました。「会長は、どうやってこのように大きな成功を収めることができたのですか。」それに対して松下さんは「私は天からの3つの恵みを受けて生まれた。家が貧しかったこと、体が弱かったこと、小学校しか出ていないことがそれだ。」と答えました。

家が貧しかったから、お金を稼げるようになろうと考えたのでしょ。体が弱かったから、そんな自分でも頑張れることをやろうと思ったのでしょ。小学校しか出ていなかったから、自分の力でなんとか勉強しようとして強く念じていたのでしょ。それらのハンデを、むしろ「幸運」と捉えて頑張れる力が、松下さんを支えてきたのでしょ。



もう一つは「仕事の厳しさ」にまつわるお話です。

ある日、松下さんが経営する会社で重役会議が開かれました。ところが当の松下さんが会議の開始時刻になっても現れません。会社のトップである松下さんがいなければ、当然会議は始められません。実はこのとき松下さんは、自動車の交通渋滞に巻き込まれ、会議の開始時刻に間に合わず、やむなく遅刻したのです。しかし仕事にも自分にも厳しい松下さんは、この遅刻をやむなしとはせず、社内処分として自らの給与を10%減給したのです。

なぜ松下さんが自分の給料をカットしたのかという理由を考えると、その人の仕事に対する姿勢や覚悟が見えてくる気がします。